

提案候補

ユネスコ無形文化遺産（人類の無形文化遺産の代表的な一覧表）への記載に向けて、今年度提案することが適当と思われる候補として、「伝統建築工^{こうしょう}匠の技：木造建造物を受け継ぐための伝統技術」を選定する。

選定理由

昨年度、文化審議会としては、ユネスコへの提案に向け、最も準備が整っていると判断された「伝統建築工^{こうしょう}匠の技：木造建造物を受け継ぐための伝統技術」を選定した。その後、日本政府からユネスコへの提案を行ったところ、ユネスコより、審査件数の上限に達したため、無形文化遺産保護条約運用指示書の規定に基づき、当該案件の２０１９年の審査を見送り、２０２０年に審査する旨の通知がなされたところ。

そのため、文化審議会としては、ユネスコへの再提案に向け、昨年度に引き続き、「伝統建築工^{こうしょう}匠の技：木造建造物を受け継ぐための伝統技術」を今年度の提案候補として選定する。

その際、今年度新たに選定保存技術に選定された技術のうち、木造建造物に関する技術も含め、再度グループ化を図ることとする。